

若手の会をオンライン開催してみた話

磯田 珠奈子[✉]

京都大学 大学院理学研究科

昨年度・今年度と「生物リズム若手研究者の集い」の世話人を務めました。せっかくですので、世話人側からみた若手の会を、開催までの内部事情も含めて書いてみようかと思えます。

今年度の世話人の仕事は、会場探しから始まりました。当初は8月末の開催を予定していたため、年明けからぼちぼちと会場を探しはじめました。世話人が関西に多かったことから「神戸しあわせの村」に会場が決まり、予約も無事に取れた頃のことです。COVID-19の感染爆発。海の向こうでの出来事か、しばらくすれば沈静化するかと思っておりましたが、3月、4月と事態は深刻化していきました。学会も次々に中止、またはオンライン開催に変更となり、若手の会の現地開催は難しいのではという雰囲気が漂いはじめました。

どうしますかと世話人で話した結果、今後の感染状況も読めないため、未知ではありましたがオンライン開催にすることに決めました。他のオンライン学会の様子を参考にすればどうにかなるだろうという、前向きかつ楽観的な世話人が多かったこともあり、ごく自然な流れで決めることができたように思います。私自身、学生同士の交流が気軽にできなくなった中で若手が交流できる機会をなくしたくないという気持ちがあったため、オンライン開催には希望を持っていました。それに今回のオンライン開催がうまくいけば、また現地開催が困難な状況が訪れたときのいいケースになるかと思ったのです。

さて、次の課題は会の内容です。これまでの若手の会は6名前後の講演者の先生方による講演とグループディスカッション、そして懇親会(※1)で構成されていました。例年参加者のボルテージがMAXになっているのは懇親会なので、現地開催と同じ構成のものをただそのままオンライン版にただけでは、たぶん物足りない会になってしまうだろうなあと思いました。いつもの楽しさを保ちつつもオンライン開催だからこそできることは何でしょうか。Zoomの他にもオンラインツールを使ってみる? 懇親会はどんな方法で行うのがいい? など、世話人同士で試行錯誤した

のはいい思い出です。

せっかくのオンライン開催なので、現地開催で移動に使っていた時間を利用して、新企画を立ててみました。場所を問わずに気軽に参加できるというオンラインイベントの特性を活かして、海外の研究者の方に話を聞く「海外の研究事情」のコーナーです。若手の会の参加者は修士・博士の学生が多く、海外留学を考えている人も少なくありません。この機会に現地で研究をしている方の生の声を聞けたら最高だなと思い、留学されている方に依頼したところ、ありがたいことに皆さん快諾してくださいました。1日目はドイツのLeibniz-Institutの大原隆之さんに、2日目はアメリカのBaylor College of Medicineから野原一成さん、アメリカでポストドクをした後日本に帰国された京都府立医科大学の小池宣也さん、筑波大学の平野有紗さん(※2)に参加していただきました。ご自身の経歴や研究環境の話から、日常生活やリアルなお金の話まで幅広いお話をしていただき、参加者から質問が飛び交う活気のある講演になりました。

オンライン開催という初の試みのため、どれくらいの方に参加していただけるのだろうか当初は少し不安でした。しかし嬉しいことに、蓋を開けてみると80人近い方に参加していただけました。若手の枠を(年齢・立場的にも)超えて、本当に様々な方に参加していただけたのはオンライン開催ならではの事だと思います。全員とお話できなかったことは残念でしたが、これだけ多くの方に興味を持っていただけたということがありがたかったです。

振り返ってみるといろいろと反省点はありますが、アンケートでは多くの方に「楽しかった」、「オンラインも悪くないね」と言ってくれてほっとしました。会場となったZoomでは意外とチャット欄が盛り上がっていて、いつもの若手の会の気さくな雰囲気を感ずることができてちょっと感動したりもしました。個人的には研究会を主体的に企画する中で学ぶことが多くありましたし、先生方と講演の打ち合わせなどの連絡を取る中で、研究のこぼれ話やその先生の人柄に触れるような人生の話などを聞くことができるのは

✉ isoda.minako.78n@st.kyoto-u.ac.jp

役得だなあと思いました。世話人おすすめなので、みなさんもやってみませんか。

オンライン開催という中でも講演を快くお引き受けくださった、吉種光さん、高橋望さん、裏出良博さん、中西周次さん、竹村明洋さん、本田直樹さんには非常に感謝しております。先生方の熱い気持ちが画面越しにも溢れ出してきて、生物リズムの面白さを改めて感じる素晴らしい時間になりました。

最後になりましたが、研究で忙しい中で貴重な時間

を割いて一緒にこの会を作りあげてくれた、上本恭平くん、儀保伸吾さん、田原優さん、藤岡春菜さん、向山厚さんにはここには書きつくせないほど感謝しております。一緒に世話人をする事ができて、とても楽しかったです。

(※1) という名の夜更けまで延々と続く飲み会。

(※2) 急遽参加していただけることになったので、プログラムには載せていませんでした。



ZOOM 会議風景